

千葉県立夷隅特別支援学校 平成29年度学校評価の結果について

平成30年2月

I 学校評価アンケートの実施と説明

- 1 対象 児童生徒、保護者、教職員
- 2 期間 平成29年12月
- 3 学校評価アンケート結果の説明及び意見収集
全校保護者会及び開かれた学校づくり委員会で説明

II 学校評価アンケートの結果と考察

1 児童生徒

(1)実施状況 全校児童生徒67名中、全員の児童生徒に実施

(2)内容

10の質問について、肯定的評価（はい）と否定的評価（いいえ）で回答し、判断がつかなかったり、質問の意味がわからないや表出が難しかったりする場合は、わからない・回答困難（?）としている。

(3)結果及び考察

ほぼ80%以上の肯定的評価を受けている。わからない・回答困難が10%程度あったが、否定的評価は、一部の質問で1,2名程度だった。

教育内容の充実に関しては、勉強がわかりやすいかについて、若干肯定的評価が低くなっている。よりわかりやすい授業の工夫に取り組んでいきたい。

教育環境の整備とコンプライアンス意識の向上では、一部の質問で、1,2名の否定的評価があった。掲示物等の工夫や、児童生徒との信頼関係づくりにさらに進めていきたい。

今後も、児童生徒の楽しい学校生活が維持できるように、一人一人に応じた、より丁寧で細やかな指導・支援を進めていきたい。

項目	○:はい ×:いいえ ?:わからない/回答困難 (*数字は人数)				
	質問内容	小学部	中学部	高等部	計
教育内容の充実	学校は楽しいか。	○ 12	13	32	57
		× 0	0	0	0
		? 4	1	3	8
	先生は勉強をわかりやすく教えてくれるか。	○ 10	12	31	53
		× 0	0	0	0
		? 6	4	4	14
教育環境の整備	先生と一緒に活動してくれるか。	○ 10	13	34	57
		× 0	0	0	0
		? 6	3	1	10
	先生は困ったときに助けてくれるか。	○ 9	13	34	56
		× 0	0	0	0
		? 7	3	1	11
コンプライアンス意識の向上	先生はがんばった時にほめてくれるか。	○ 10	12	34	56
		× 0	0	0	0
		? 6	4	1	11
	教室や廊下に自分たちの作文や作品、勉強に役立つものなどが掲示してあるか。	○ 9	12	35	56
		× 0	1	0	1
		? 7	3	0	10
コンプライアンス意識の向上	給食はおいしいか。	○ 12	10	34	56
		× 0	1	1	2
		? 4	5	0	9
	先生はあいさつしてくれるか。	○ 11	13	35	59
		× 0	0	0	0
		? 5	3	0	8
コンプライアンス意識の向上	先生は話を聞いてくれるか。	○ 10	12	33	55
		× 0	1	0	1
		? 6	3	2	11
	先生は「さん、くん」をつけてよんでくれるか。	○ 10	13	34	57
		× 0	0	0	0
		? 6	3	1	10

2 保護者・教職員

(1)実施状況

保護者は全校保護者67名に実施。教職員は、教員(44名)、養護教諭(1名)、実習助手(2名)、行政(10名)に実施。回収率は100%。今回、保護者と同様の質問の教員について保護者との比較で表示した。

(2)内容

15の質問について、肯定的評価（4:よく思う・3:思う）と否定的評価（2:あまり思わない・1:思わない）、0:わからないで回答している。

(3)結果及び考察

全体を通して80%から90%台の肯定的評価となっている。全体的に、教職員に比べ、保護者からの肯定的評価が低くなっている。

【課題及び今後の対応】

教育内容の充実については、保護者の願いを受けながら、一人一人に応じた指導の充実により一層努め、児童生徒の成長を適切に伝えられるようわかりやすい通知表の記載について留意していきたい。

教育環境の整備については、安全点検等をさらに徹底し、施設設備の整備を計画的に進めたい。また、家庭との連携による防災訓練や防災・安全教育についてもさらに充実していきたい。

社会自立に向けた取組では、個別の教育支援計画（サポートファイルおひさま）の活用等についての肯定的評価が、他の質問に比べ低くなっている。サポートファイルおひさまについては、昨年度も課題であった。今年度も複数回に渡り保護者向けの説明会や教職員向けの研修会等を実施し、内容や活用方法についての説明をしたり、個別面談時に必ず確認や見直しをしたりしてきた。しかし、まだ十分に理解されていないことが考えられる。全校保護者会で卒業後にも活用できることを説明したところ、詳しい情報提供の希望が出た。開かれた学校づくり委員会では、施設利用や年金申請等でサポートファイルが活用できるとの意見が出された。次年度は、サポートファイルおひさまの有効性や将来の活用法などのより具体的な説明会を実施し、将来に役立つツールとして、教職員及び保護者に理解を求めていきたい。また、進路に関しては、今年度も、小学部や中学部の保護者を対象にした進路説明会やPTA研修部との連携による進路研修会等を実施し情報提供を行ってきた。より多くの保護者の参加を促せるよう、周知の仕方や内容の検討を行ってきたい。

保護者や地域との連携については、学校間交流や居住地校交流の充実に向けての意見が、開かれた学校づくり委員会でも出された。内容や回数等を見直し、次年度に向け具体的な取組を検討していきたい。

コンプライアンス意識の向上に関しては、おおむね高い肯定的評価であったが、児童生徒一人一人の人権について再度意識し指導にあたっていきたい。

						保護者・教職員の学校評価アンケート結果									
保護者						評価の観点					教職員				
回収率100% (67名) (*数字は人数)						4:よく思う 3:思う 2:あまり思わない 1:思わない 0:わからない					回収率100% (44名) (*数字は人数)				
4	3	2	1	0	項目	質問内容 (注:文言は保護者と教職員で若干異なる)					4	3	2	1	0
33	26	5	2	1	教育内容の充実	児童生徒は学校生活を楽しみにしているか。	24	20	0	0	0				
23	40	2	0	1		保護者の願いや要望に応じた教育活動を行っているか。	14	30	0	0	0				
31	33	2	0	1		一人一人に応じた手立てを講じた授業を行っているか。	18	26	0	0	0				
33	33	0	0	1		「個別の指導計画」は目標・手立て・評価が明確であるか。	16	27	1	0	0				
24	39	2	1	1		通知票は読みやすく、わかりやすいか。	17	27	0	0	0				
17	41	5	1	3	教育環境の整備	施設設備は、安全に整えられているか。	9	33	2	0	0				
24	37	3	2	1		安全確保に必要な指導や配慮、環境整備がなされているか。	15	29	0	0	0				
22	41	2	0	2		校内の掲示物は、わかりやすく工夫されているか。	24	19	0	0	1				
24	37	3	1	2	社会自立取組に	進路に関する必要な話し合いや話題提供がされているか。	17	25	1	0	1				
12	37	11	0	7		「個別の教育支援計画」(サポートファイルおひさま)は学校と保護者、関係機関で共有されているか。	11	27	4	2	0				
16	43	5	0	3	地域・保護者や連携	小中学校等との交流等は積極的に行われているか、特別支援教育のセンターとしての役割を果たしているか。	13	28	0	0	3				
22	39	2	2	2		保護者と連携して教育活動を進めているか。	16	28	0	0	0				
29	36	0	0	2		学校行事や学部行事などを通して地域との連携に努めているか。	21	22	1	0	0				
27	35	2	1	2	アコンプラの向上意識	情報の管理がなされ、児童生徒に関するプライバシーを守っているか。	20	24	0	0	0				
30	32	2	1	2		呼び方や言動など児童生徒の人権に配慮した対応がされているか。	21	23	0	0	0				